

東京外語会主催「文化講演会」のご案内



講師：林 佳世子氏 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授
東洋史<オスマン史、トルコ研究>

演題：現在のトルコとオスマン帝国の記憶

日時：2013年4月20日(土)午後2時～4時(講演後4時から懇親)

会場：東京外国語大学 本郷サテライト4階

講師紹介：林佳世子（はやしかよこ）1984年お茶の水女子大学人文科学研究科東洋史学専攻修了。1988年東京大学東洋文化研究所助手を経て1993年東京外国語大学外国語学部講師、2005年同教授、2009年から大学院総合国際学研究院教授。主な著作に『オスマン帝国500年の平和』（講談社）、『オスマン帝国の時代』（山川出版社）、『世界各国史9西アジア史II』（共著、山川出版社）、『イスラム都市研究』（共著・東京大学出版会）、『トルコを知るための53章』（明石書店、共著）、『記録と表象—史料が語るイスラーム世界』（東京大学出版会、共編著）、『イスラーム世界研究ハンドブック』（名古屋大学出版会、共編著）などがある。

講演概要：観光の世界において、トルコは「東と西の接点」のように宣伝されるが、現在においては、それは確かに当たっている。連続して広がるイスラム文化圏はトルコ国境で途切れるからだ。しかし、現在のトルコ第一の都市、イスタンブル（コンスタンティノープル）がビザンツ帝国1000年、オスマン帝国450年の都であったことからわかるように、かつての東地中海世界はこの地を中心に構成されていた。トルコが「接点」となったのは、ここ100年のことである。こうした事実を踏まえ、今回は、現在のトルコとオスマン帝国の連続・非連続、そして現在のトルコ共和国における「オスマン帝国イメージ」について考えてみたい。

申込み・問合せ先：東京外語会事務局 Tel:03-3815-5877 Fax:03-5842-8377 E-mail:jimukyoku@gaigokai.or.jp

懇親会：講演の後、講師を囲んでサテライト8Fにてシンプルな懇親会が開かれます。

会費：1,000円(会費は講演の聴講費、資料作成費、懇親会費に充当)

サテライト・アクセス：東京メトロ地下鉄「本郷三丁目」から徒歩5分。「老岐坂上」の角。